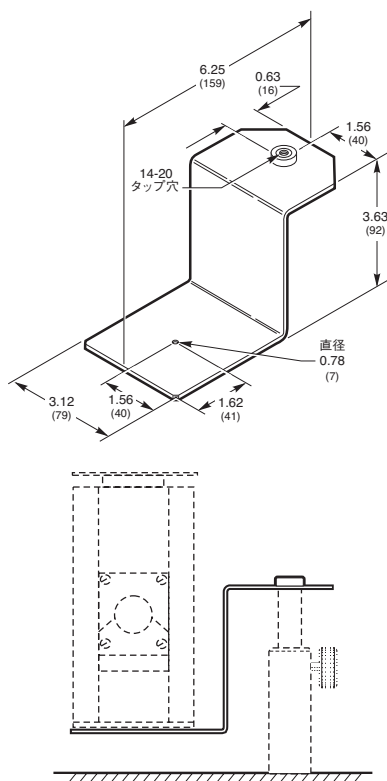


光源用Zブラケット

Z Bracket for Light Sources



63205 QTHランプハウジングを載せて光学ロッドに取り付けた66275 Zブラケット

- ロッドマウント型ハウジングの光軸高さを下げる
- シンプルで低コスト

66275 Zブラケットは、弊社のモデル63205（P207を参照してください）クオーツタンクステンハロゲンランプ用の小さなハウジング、および、大電力ランプハウジング（P235を参照してください）を保持します。シンプルな設計により、ロッドマウントしたハウジングの光軸高さを、弊社のモノクロメータの入射口に合わせて下げることができます。

発注のご案内

モデル	仕様	Price
66275	Zブラケット、モデル63205ランプまたは高出力ランプ	¥17,800

WEB 詳細は当社のWebサイトを参照してください。

耐ソラリゼーションファイバ

Solarization Resistant Fibers



耐ソラリゼーションファイバ

未処理のファイバを260 nmより短波長のUV光に長期間さらすと、光の作用によりUV透過率がかなり低下します。弊社の耐ソラリゼーションファイバは、DUV光の影響による損傷を防ぐようになっています。その寿命は3つの条件で決まります。

1. ファイバが浴びる光の波長（波長が短いほど、寿命が短くなります）
2. 光源の強度（強度が高いほど、寿命が短くなります）
3. 継続使用時間または使用サイクル（コア200 μm 、長さ1 mのファイバを弊社の重水素光源に1500時間以上さらすと、214 nmの透過率が当初の約30~40%になります）

- 長期のDUV光に高い耐久性
- 180 nmの短波長まで優れた透過率
- 標準コアサイズ200、400および600 μm 、他サイズも可
- 重水素ランプ光源およびアークランプ光源に最適

ソラリゼーションの原因

ソラリゼーションは、260 nmより短波長で発生します。その原因は、数多くの損傷をもたらす高エネルギーのUVフォトンです。この損傷により短波長の透過率がかなり低下しますので、260 nmより短波長ではファイバを使用できなくなります。ファイバのシリカコアに高温で水素を注入することにより、この効果を一時的に抑えることはできません。ただし使用するにつれて水素が徐々に拡散しますので、このファイバもいずれはソラリゼーションの影響を受けます。

使用前にファイバをUV光源に5分間さらしてください。これにより初期劣化が起こりSi-H結合ができます。その後は平衡状態に達しますので、ファイバを通常通り使用することができます。使用しない時は冷凍庫で保管すると寿命を長くすることができます。